

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービス ハビネスプラス+		
○保護者評価実施期間	8月1日		～ 9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	8月1日		～ 9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	10月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供たちの個性に応じた支援、少人数規模の利点を活かした支援ができること	3つの部屋がありますので個別に支援を行いたい時等に活用しています。発達状況により支援内容が異なる際に部屋を分けることで手厚く支援することが可能です。	個性に即した課題や遊びを増やせるよう努めます。
2	老人福祉施設に併設されているため高齢者とのふれあいを持つことで相互に良い刺激を得ることができること	当施設は主として老人介護施設がありますので月に1回程度のイベント時に子供たちが高齢者の方々と触れ合う機会があります。高齢者の方との触れ合いの中で様々な感情や想いを育んでくれていると思います。	これまでは職員からの発案でお守りを作成したり絵や折り紙のプレゼントをしていました。今後はできる限り子供たち自身が高齢者の方にどう接していくかを考える機会を増やせるように努めます。
3	法人内の情報共有、関係機関との連携体制があること	当法人は母子支援施設やこども園を運営している。当事業所にはそれらの施設からの利用者が多く、施設職員との連携も取れやすく情報共有が容易にできるため個々の生活環境等を把握し易くなっています(プライバシーに関わることについては聞かないよう注意を払っています)。	継続した連携体制を図る、また母子支援施設は担当制であるため、当事業所も担当制を検討しより連携がとれやすい体制作りに努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会の少なさ、イベントとして交流会等は催していないこと	保護者からの要望等もなく積極的な働きかけを行っていないため保護者同士の交流会等は実施していません。母子支援施設の利用者が多いため保護者同士での交流は一部あります。	保護者からの要望があれば検討していきます。
2	地域の方との交流が少ない	地域の方との交流の場が少ないことと知らない人を極度に嫌がる子供がいる等の要因があります。保護者からは特に地域との交流を求めるといったような要望がありません。	地域交流の内容等を吟味して参加していくように検討していきます。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもデイサービス ハビネスプラス+

公表日 2025年 10月 25日

利用児童数 2025年 8月 1日

回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	2			定員以上の子供たちがいる場合は多少狭く感じることがありますが、スタッフのエリアを縮小するなどスペース確保に努めている。目的に合わせて施設の空きスペースなどを利用している。工夫されていると感じます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2			2	人員配置は子供たちの安全や十分な関わりのため、気遣っていただいています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	1		1	車いすが通れる十分なスペースがあり、バリアフリーが徹底されているように感じました。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4				清潔で綺麗にしているように感じました。クッションフロアで子供たちが安全に活動できると思いました。	清潔で、心地よく過ごせる環境を継続できるよう努めていきます。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	1		1		保護者に対して支援内容を明確にし、計画書を確認いただき十分理解いただいたうえで支援を開始していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	1		1		保護者に対して支援内容を明確にし、計画書を確認いただき十分理解いただいたうえで支援を開始していきます。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	1		1	聞き取りを丁寧に行ってください、一人一人に合った個別支援計画を作成してくれていると感じます。	保護者に対して支援内容を明確にし、計画書を確認いただき十分理解いただいたうえで支援を開始していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	1		1		保護者に対して支援内容を明確にし、計画書を確認いただき十分理解いただいたうえで支援を開始していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	1		1	支援計画に沿って支援してくれています。共有いただいています。	保護者に対して支援内容を明確にし、計画書を確認いただき十分理解いただいたうえで支援を開始していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3			1	それぞれの担当者の方が活動プログラムを考えているとのことでした。子供たちが楽しみながら取り組めるよう工夫してくれています。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	1		季節のイベント等で他の園児たちとの交流の写真を見たことがあります。	HPやSNSを活用して周知していけるよう検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4				利用開始時に丁寧に説明がありました。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4				利用開始時に丁寧に説明がありました。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			2	2	家族参加の研修会の情報提供は今のところありません。	家族参加の研修会などの機会があれば情報提供を行います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	4				送迎時に日々の出来事等や状況等の共有を行ってくれています。	継続していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4				日頃からラインで相談・助言をいただいています。また相談したい時には臨時で対応時間を作って対応してくれます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4				日頃からラインで相談・助言をいただいています。また相談したい時には臨時で対応時間を作って対応してくれます。	継続していきます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				4	父母の会が必要とは思いません。兄弟同士の交流の機会とはよくわからない		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4				特にそのような場があることの周知はないが相談等について迅速な対応をいただいています。	継続していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				4	確認を取ったことがないため不明。活動内容や行事予定はLINE等で連絡をいただいています。	SNS等で活動の写真や行事予定を保護者に対して発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				適正な管理をしてくれていると信じています。	個人情報に関しては必ず鍵のかかる鉄庫に保管し管理しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4				契約時に各種マニュアルの策定状況と訓練の実施について説明がありました。	契約時に重要事項の中にあるので一緒に説明しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4				契約時に各種マニュアルの策定状況と訓練の実施について説明がありました。	契約時に重要事項の中にあるので一緒に説明しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4				管理体制と人員配置により安全を確保しているということで説明がありました。	子どもの安全確保の為あそびおもちゃや用具についても危険がないか等を検討して選ぶようにしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4				速やかに連絡をいただくと説明がありました。	現状事故等なし、速やかに報告等行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4				はい。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4				はい。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	4				はい。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 こどもデイサービス ハビネスプラス+

公表日 2025年 10月 25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		広くはありませんが利用定員に対しての広さは確保されています。また複数の部屋がありますので、個別支援も可能です。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		規定以上の人員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		正面入り口は階段になっているため、車いすは別の扉から入ることが可能です。	正面入り口に車いす用のスロープの設置を検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		衛生対策、感染対策として日頃から清掃、除菌、換気には細心の注意を払っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		状況に応じて別室を利用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		必要に応じて、振り返りと対応策を練った上、職員間で情報共有し、対応しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者向け評価表の内容を全職員間で情報共有しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		週1回以上のミーティング時に意見交換を実施しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		第三者による外部評価は未実施、今後実施を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		保護者同席でアセスメントを行い、こどもの様子や要望等を聞き取り、計画書を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		週1回以上のミーティング時に意見交換を実施、全職員の意見を反映した計画書を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		週1回以上のミーティング時に意見交換を実施、計画書に沿った支援を行えるよう努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		1人1人の発達状況を見ながら活動に合わせてアセスメントを使用しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		個別支援計画書により設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		各担当者が立案し、管理者が確認を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		季節の行事や公共施設のレク等こども達も楽しめるよう工夫しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		1人1人の発達状況を見ながら活動に合わせて計画書を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		新たな利用者は必ず職員間で情報共有を行いチームで連携して支援を行うよう努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		支援終了後に検討が必要な事例の有無を確認し、共有しています。さらに掘り下げが必要な場合はミーティング時に対応方法を検討しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		こども達の様子は日々記録し、PDCAに沿って支援を行うようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		PDCAサイクルに則り支援計画書の見直し等を行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		関係各所と関係構築を行い、情報提供や連携した支援を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		併行利用や移行支援など他事業所、各関係各所と連携を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		各関係各所と連携を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		スーパーバイズや助言等を受ける機会を設けていない。	今後検討していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4		自社のこども園での活動などに参加する機会があり、協力関係を築いています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時やコノベル、ラインで個別に情報を共有しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		面談の際や電話等でやりとりする際に、困りごとに対する相談の受付や助言を行っている。家族からの相談には柔軟に対応できるようにしています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		利用開始時の面談時に説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		保護者同席でアセスメントを行い、こどもの様子や要望等を聞き取り、計画書を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		こどもの様子や要望等を聞き取り、計画書を作成、作成時に同意を得ています。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		送迎時や電話、ラインで相談は随時受け付け、助言や支援を行える体制を整えるようにしています。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		保護者会等の開催は実施していませんが、今後機会があれば設けるか検討していきます。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			送迎時や電話、ラインで相談は随時受け付け、助言や支援を行える体制を整えるようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			コノベルやラインを利用し連絡やこどもの情報を保護者と連携しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			個人情報に係わる紙及び電子記録媒体は管理者のみ開け閉めができるキャビネットに保管し管理しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			こどもとのやりとりでは伝わりやすい言葉を使うよう心がけています。保護者とのやり取りは、互いに読み返して確認できるようLINEによる連絡を心がけています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		コロナ等感染症予防のため地域住民の招致等は行っていません。	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			年2回緊急時の対応訓練をこども達をまじえて活動の一環として行っています。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			年2回緊急時の対応訓練をこども達をまじえて活動の一環として行っています。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			必ず確認し、必要なこどもは薬等を常備している。	
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			現在アレルギーのあるこどもはいませんが、今後該当者が出れば対応を行います。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			遊具の点検・その他必要な措置をし、安全管理がされた中で支援を行っています。	
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			取り組み内容や対応について伝えています。	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			随時書類を作成し、職員間で情報共有を図り、PDCAサイクルに組み込んでいます。	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			ネット配信による研修の受講を行っています。また、日々の支援で職員間で気づきのあったことは共有し、互いに注意を行います。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			利用開始時の面談時に説明を行っています。		